

南区

さかい子ども司書 (子ども読書リーダー) のおすすめ本



これまでのさかい子ども
司書（平成 29 年度～
令和元年度）が選んだ
おすすめ本のリスト
です。読んでみてね！

えほん

※低学年～

『まざっちゃおう！』

いろいろないろのおはなし』

アリー・チャン／作・絵 フレーベル館



ここは、いろがすいろまちあかあおきいろがす
でいて、みんななかよくくらしていました。
ところが、とつぜんあかが、「あかがさいこう」
といいだし、けんかになってみんなべつべつ
くらすことに…。でも、あおきいろがなかよ
くなって「まざっちゃおう！」そしてみどり
が生まれます。「みんななかよくすること」は
だいじ
大事なことなのです。

よみもの

※中学年～高学年

『怪談オウマガドキ学園 1』

真夜中の入学式』

常光 徹／責任編集 童心社

いろいろなかいだんがのっていて、ちょっと
こわいけどとてもおもしろいほんです。
のっているかいだんを友だちにはなすのも、
とてもたのしいのでおすすめです。ぜひよ
んでみてください。

高学年から



中学年から



『怪盗レッド 1』

『2代目怪盗、デビューする☆の巻』

秋木 真／作 KADOKAWA

ある春休みの日「明日から、おまえたちが怪盗レッドだ！」って、いきなり言われた。しかも、相棒のケイは不愛想でとても心配！これは、人間ばなれした運動力のアスカとIQ200の天才ケイのでこぼこ怪盗コンビの話。

『精霊の守り人』

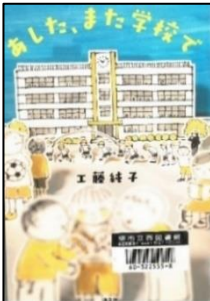
上橋 菜穂子／作 偕成社

ある日、女用心棒バルサはひよんなことから新ヨゴ皇国の皇子を救った。その皇子は何かに取りつかれ、それを疎んだ皇帝の父から命を狙われているようで…。皇子に取りついたモノは何なのか？バルサは皇子を救えるのか？老若男女が楽しめるファンタジー小説です！

高学年から



高学年から



『あした、また学校で』

工藤 純子／著 講談社

おお たいかい あされん じゆうさんか じゆう
大なわ大会の朝練は自由参加。でも、「自由なのに参加しないとおこられます。学校は、だれのものか？」と考えるお話。大人も子どももともに感動し、共感できます。

『絵本処方院ウサミの謎カルテ』

古都 こいと／著 ポプラ社

“特別なことはしなくてもいい。生きるというのは、ただそれだけで自由で尊いことなのだから。” これはこの本に出てくる絵本『ルピナスさん』が教えてくれたこと。絵本は奥が深いです。この本を読んで、あなたも絵本を一冊手にしてみてもどうですか？

高学年から



『大中小探偵クラブ』

神の目をもつ名探偵、誕生！』

高学年から

はやみねかおる／作 講談社



神経質な主人公佐々井彩矢と、大雑把な性格をしている大山昇、ごく普通の性格をしている真中杏南。そんな幼なじみ三人の通う大中小学校にはある秘密があって…。 “大中小学校の謎” を彩矢たち三人が解き明かす！

『薬屋のひとりごと』 1～

日向 夏／著 主婦の友社

中世の宮中の下女が難事件を解決していく物語。薬と毒が好き少女猫猫は、ある日人攫いの手により後宮へ売られてしまう。仕方なく後宮で年季があけるのをまっている中、宮中をおびやかす事件がおきる。事件解決とともに明かされる事実をとくご覧あれ。

高学年から



『ふしぎ駄菓子屋銭天堂』シリーズ

廣島 玲子／作 偕成社

中学年から



幸運のお客だけがたどりつけるふしぎな駄菓子屋、銭天堂。そこには、私もほしくなるようなふしぎなお菓子がたくさん売っています。店主がすすめてくれる駄菓子はその人にぴったりのもの。でも、使い方によっては幸せにも不幸にも…。こんな駄菓子屋があればいいなと思えるふしぎな本です。とってもおもしろくてオススメなのでぜひ読んでみてください。

『戦国姫』シリーズ（集英社みらい文庫）

藤咲 あゆな／作 集英社

高学年から

戦国時代、戦乱の世を時代の波に翻弄されながら果敢に生きた姫君達がいた…。例えば、あの「織田信長」を陰で支えた「濃姫」。天下統一を目指す豊臣秀吉の思惑により、ふりまわされ続けた「浅井三姉妹」。戦国時代を華麗に生きぬき、陰で支え続けた姫達の物語。



高学年から



『キニ子の日記』上・下

間部 香代／作 WAVE 出版

キニ子さんが気になったことを書いた日記です。たとえば、「バタフライはもともと平泳ぎだった」など。みなさんは知っていましたか？こんなふうにはいろいろな豆知識がのっています。調べ学習や自習、家庭学習にもってこいの本ですよ。ぜひ読んでみてください。

『赤毛のアン』

モンゴメリ／著 新潮社

あるちょっとした手違いからグリーン・ゲイブルスの老兄妹の養子となったアン。アンは、自身が引き起こす愉快な事件の中で、少しずつ成長していきます。喜怒哀楽がおりこまれた名作。少し難しいですが読んでみてください。

高学年から



ちしき

※中学年～高学年

『ジュニア空想科学読本』シリーズ (404)

柳田 理科雄／著 KADOKAWA



みんながよく知るあのアニメやあのマンガ、昔話やおとぎ話。そのアニメの出来事を、もし実現しようとしたらどうなる？現実では想像すらできないあのマンガの必殺技はどういうこと？そんな、アニメやマンガでおなじみの「ありえないこと」を科学的に考える！

『泣けるいきもの図鑑』

『ぜんぶホント！生命のふしぎ』（480）

今泉 忠明／監修 学研プラス

この本は、いろいろな生き物の泣ける部分を
紹介しています。例えば、「サイは角のせいで
絶滅寸前」など、びっくりするようなことが
たくさんかいてあります。生き物について知る
ことができ、勉強になるので、オススメです。



『も〜っと わけあって絶滅しました。』（482）

丸山 貴史／著 ダイヤモンド社



この本では、わけあって絶滅したいろいろな動物を知ることができます。生物は進化して絶滅して…をくりかえしています。私たちも、いつかは絶滅してしまうかもしれません。この本をみて、かれらが絶滅した理由をさぐっていきましょう。

『俺、つしま』（645）

おぷうのきょうだい／著 小学館

この本は、おじいちゃんとねこのつしまや、おさむの日常をえがいた本です。楽しくてももしろいですが、ちょっとかんどうするともいい本なので、ぜひよんでみてください。



さかい子ども司書 とは・・・

堺市の図書館では、地域の読書リーダーとして活動する「さかい子ども司書」を養成しています。さかい子ども司書たちは、図書館により親しみ、読書の楽しみを友だちや家族に広げるため、絵本の読み聞かせやおすすめ本のPOP作成などの活動をしています。



堺市立南図書館

堺市南区茶山台 1-7-1

電話 072-294-0123

本はともだち



堺っ子読書活動

堺市南区役所区政企画室

堺市南区桃山台 1-1-1

電話 072-290-1805

令和4年2月発行